

平成29年度 国語科

教科	国語科	科目	国語総合B	単位数	3	年次	1
使用教科書	高等学校 改訂版「国語総合」 (第一学習社)						
副教材等	新版高校国語の基礎固め (第一学習社) 原色シグマ新国語便覧ビジュアル資料 (文英堂) 三訂版 完全傍訳 やさしくくわしい古典文法 (尚文出版) チャレンジアップシリーズ国語総合問題ステージIβ (京都書房)						

1 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ・1年生では、古典学習の基礎になる古語の意味、古典文法、古典特有の表現法を身に付けます。 ・自ら考え、答え、発表し、また他者の発言を聞き、自身のノートにまとめられるようにします。 ・古文・漢文の文章を「読む能力」を向上させ、他者の発言を聞いたり、自らの解釈を発表したりするための「話す・聞く能力」や、わかりやすくノートにまとめ残すための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。 ・有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、様々な古文・漢文に触れ、古典の世界の理解を深めます。また、登場人物の心情等を正しく理解しましょう。 ・予習として、本文を読み、ノートに自ら書き写しておきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。 ・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。
--

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・古語に関して語彙力・文章力を高め、適切な文章理解ができる。 ・的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。 ・考え、理解したこと、また疑問に感じたことを適切に表現することができる。 ・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。 ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。 ・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育てている。
--

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主 たる 評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの 評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート、ノート)	記述の確認及び分析 (ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1 学期	古文入門・物語を楽しむ	教材: 説話 『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 伝奇物語 『竹取物語』 「かぐや姫のおひたち」 文法等… いろはうた 歴史的仮名遣い 単語・文節・品詞 動詞の基本形						a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 b: 相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりしている。 c: 文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いている。 d: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a: 行動の観察 b: 行動の観察と確認及び分析 c: 文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いている。 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	随筆を読む	教材: 随筆 『徒然草』 「つれづれなるままに」 「ある人弓射ることを習ふに」 文法等… 動詞の活用 (四段・上二段・上一段・下二段・下一段・カ変・ナ変・ラ変・サ変)						a: 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 b: 相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりしている。 c: 文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いている。 d: 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 e: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a: 行動の観察及び記述の点検 b: 行動の観察と確認及び分析 c: 文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いている。 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査

2学期	漢文入門 ・ 物語を楽しむ	<p>教材： 漢文の学習 訓読に親しむ (一)(二)(三)</p> <p>句法等… 訓点、書き下し文 代表的な助字・置 き字・再読文字</p> <p>教材： 歌物語 『伊勢物語』 「芥川」「筒井筒」</p> <p>文法等… 形容詞・形容動詞の 活用 助動詞「き・けり・ つ・ぬ・たり・り」 「ず」「なり」の意味 と訳し方</p>	○	○	○	◎	○	<p>a:漢文…我が国の言語文化が中 国等の文化を受容しつつ 築かれてきたことに気付 こうとしている。 古文…文章に描かれている 情景を、文や文章、語句 などから離れないように して読み、人物の言動や 状況を捉える手掛かりと しようとしている。</p> <p>b:相手の考えを踏まえて自分の 考えを説明したり、考えを相対 化したりしている。</p> <p>c:文章の形態や文体、語句など に合った適切な表現の仕方で書 いている。</p> <p>d:漢文…文章の組立てや骨組み を的確に捉えている。 古文…文章に描かれている 情景を、文や文章、語句 などから離れないように して読み、人物の言動や 状況を捉える手掛かりと している。</p> <p>e:漢文…漢文を読むことに役立 つ、訓読のきまりを身に付 けている。 古文…古文を読むことに役 立つ、文語のきまりを身に付 けている。</p>	<p>a:行動の観察及 び記述の点検</p> <p>b:行動の観察と 確認及び分 析</p> <p>c:文章の形態 や文体、語句 などに合っ た適切な表 現の仕方で 書いている。</p> <p>d:記述の確認及 び定期考査</p> <p>e:小テスト及び 定期考査:行 動の観察及び 記述の点検</p>
-----	---------------------	--	---	---	---	---	---	--	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">故事成語</p>	<p>教材： 故事成語 「狐借虎威」「蛇足」</p> <p>句法等… 訓点、助字・ 置き字・再読文字</p> <p>教材： 日記 『土佐日記』 「門出」</p> <p>文法等… 助動詞「る・らる・ す・さす・しむ」 「む・むず」「べし」 の意味と訳し方</p>	○	○	○	◎	○	<p>a:漢文…我が国の言語文化は、 中国をはじめとする外国 の文化の受容とその変容 を繰り返しつつ築かれて きたことに気付こうとし ている。</p> <p>古文…人物、情景、心情などを、 どのように書き手が描い ているのかを捉え、言葉の 美しさや深さに気付こう としている。</p> <p>b:相手の考えを踏まえて自分の 考えを説明したり、考えを相対 化したりしている。</p> <p>c:文章の形態や文体、語句など に合った適切な表現の仕方 で書いている。</p> <p>d:漢文…文章の組立てや骨組み を的確に捉えている。</p> <p>古文…人物、情景、心情などを、 どのように書き手が描い ているのかを捉え、言葉の 美しさや深さに気付いて いる。</p> <p>e:漢文…漢文を読むことに役立 つ、訓読のきまりを身に付 けている。</p> <p>古文…古文を読むことに役立 つ、文語のきまりを身に付 けている。</p>	<p>a:行動の観察及 び記述の点検</p> <p>b:行動の観察と 確認及び分 析</p> <p>c:文章の形態 や文体、語句 などに合っ た適切な表 現の仕方 で書いている。</p> <p>d:記述の確認及 び定期考査</p> <p>e:小テスト及び 定期考査</p>
---	--	---	---	---	---	---	--	--

3 学 期	教材： 漢詩「春暁」 「黄鶴楼送孟浩然 之広陵」 「春望」 句法等… 漢詩の形式、対句						a:漢文…考えの進め方や、情景 や心情の推移など、文章 の筋道を的確に捉えよう としている。 古文…文章に描かれている情景 を、文や文章、語句などか ら離れないようにして読 み、人物の言動や状況を捉 える手掛かりとしようと している。	a:行動の観察及 び記述の点検 b:行動の観察と 確認及び分 析 c:文章の形態 や文体、語句 などに合っ た適切な表 現の仕方で 書いている。
	教材： 軍記物語 『平家物語』 「木曾の最期」 文法等… 古典文法の復習	○	○	○	◎	○	b:相手の考えを踏まえて自分の 考えを説明したり、考えを相対 化したりしている。 c:文章の形態や文体、語句など に合った適切な表現の仕方で書 いている。 d:漢文…考えの進め方や、情景 や心情の推移など、文章の 筋道を的確にとらえてい る。 古文…文章に描かれている情 景を、文や文章、語句など から離れないようにして 読み、人物の言動や状況を 捉える手掛かりとしてい る。 e:漢文…漢文を読むことに役立 つ、訓読のきまりを身に付 けている。 古文…古文を読むことに役立 つ、文語のきまりを身に付 けている。	d:記述の確認及 び定期考査 e:小テスト及び 定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力
 d:読む能力 e:知識・理解

※ 評価の観点をすべての単元に位置付けているが、単元内で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）の観点には◎を付している。